

目次

■ 2022～2023年のロシア・NIS諸国の経済(上)	1
■ 統計速報	10
2023年3月のロシアのブランド別乗用車販売台数/10	
■ トピックス	11
日本工営、ウクライナ復興支援室を新設/11	
IMF、ロシア経済見通し上方修正/11	
ノヴァテク、サハリン2の権益取得/11	

2022～2023年のロシア・NIS諸国の経済(上)

はじめに

『経済速報』では毎年この時期、前年のロシア・NIS諸国(旧ソ連の新独立諸国)の経済統計を紹介し、各国の最新の経済動向について論評するという企画をお届けしている。本年も2022年のデータがほぼ揃ったので、早速それを試みたい。なお、モンゴルは一般的にはNISの範疇に入らないが、本レポートの対象に加えている。

まず今号では、全13カ国の主要経済指標を図表にまとめて掲載するとともに、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けする。中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルのレビューは次号で扱う予定である。各国レビューの執筆は当会ロシアNIS経済研究所のスタッフによるものであるが、ロシアについては北海道大学の田畑伸一郎名誉教授、ウクライナについては北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの服部倫卓教授にご寄稿いただいた。

最後に、図表のデータについてであるが、ジョージアは2009年8月に独立国家共同体(CIS)から脱退しているため、CISの統計データに含まれないこと、2018年に脱退の意向を表明しているウクライナも、CIS統計委員会へのデータの提供を停止したため、2022年のCISの統計データに含まれないことに注意願いたい。